令和８年度たばこと健康に関するデジタルポスターコンクール受賞作品

【最優秀賞】



五十鈴中学校（３年）　横山　莉子　さん

講評

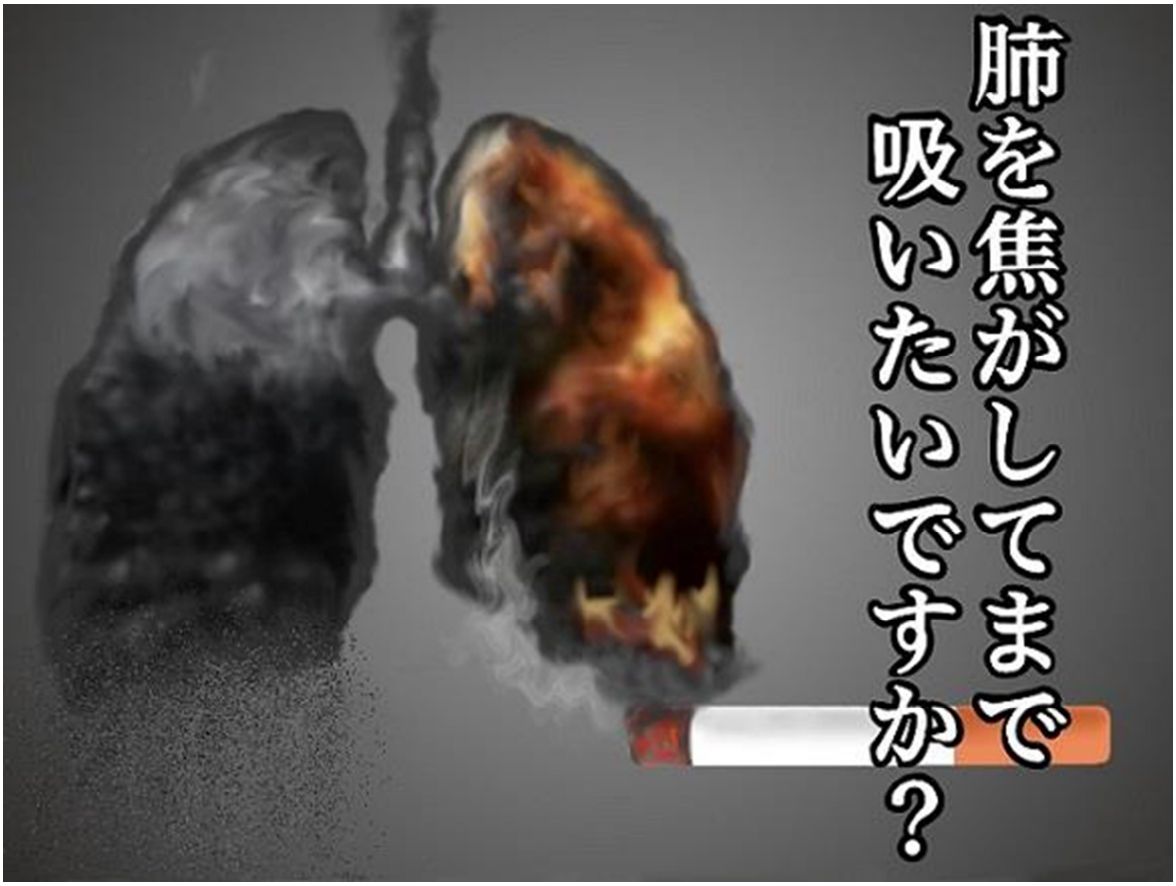
喫煙者に喫煙の恐ろしさを、リアルな挿絵を究極の選択を迫るキャッチフレーズに乗せて投げかけてくる作品である。

気持ちよく吹き出した主流煙が、醜いドクロに変わっていく様から、生命の危険がダイレクトに伝わってくる。

タバコ１本１本のリアルな表現や煙などのエアブラシ加工、バックに配色された色彩からは、デジタルならではの仕上がりの良さを感じる。

令和８年度たばこと健康に関するデジタルポスターコンクール受賞作品

【優秀賞】



倉田山中学校（３年）　松尾　茉莉愛　さん

講評

タバコの吸い込んだ煙が身を滅ぼし始める。それは、火のように早く肺を焦がし、灰のようにボロボロにしてしまう。肺が灰になってしまうその凄まじさが、喫煙者に喫煙の恐怖を強く訴えてくる作品となっている。

写真のように処理された画質や正確なレタリング、崩れていく肺の表現等、デジタルの良さが見える。

令和８年度たばこと健康に関するデジタルポスターコンクール受賞作品

【努力賞】



御薗中学校（３年）　松崎　瑚子　さん

講評

喫煙者が巨大なタバコに手足の自由を奪われ、タバコの煙の闇で一人苦しんでいる。その操り人形になった様が、タバコの常習性の恐ろしさを感じさせる作品である。

喫煙の心地よさに支配され、死肺によって命の危険を訴えている同音異義語的キャッチフレーズも生かされている。

エアブラシ加工やレタリングの処理等に、デジタルの効果が発揮されている。